

山下現有 浄土宗 僧侶。天保二年八月二十八日尾張國生礼、昭和九年四月十一日没（八三—一九四）。善住山口、蓮梅俊敏、澤賢、辨有。號善阿、榮堂。天保十一年得度、弘化元年江古の二塚山増上寺安祥堂の僧侶。嘉永二年戸擧書懸、就き、兩派相取、明治七年法華僧道流住職、二十一年戸擧通記四年住職、まゝに京都大叡會會長に任じられた。二十一年大本山増上寺住職を經ぐ、二十五年總本山知恩院住職、更に浄土京管長に就任。二十九王朝鮮各地を巡教、翌年總本山阿彌陀堂を再建落成。四十四年宗祖大師七百年遠忌を奉修。百歳の高齡に達し、人生佛々として毎日を暮らした。梵語研究に堪能とし、漢詩も作した。

海僧録曰孝譽現有入僧正正（昭和九年五月四日京都・知恩院事務所）、井川定慶著曰高僧山下現有上人正（再版・昭和九年五月七日京都・政經書院）、曰歌詩句集—孝譽東堂現有上人上壽一百一斷記念正（田中俊孝編、昭和十一年五月一日京都・榮堂會）等がある。

